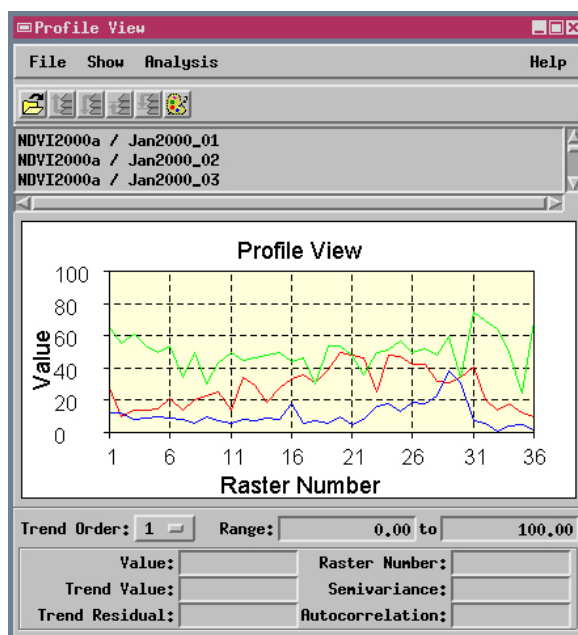


セル位置による複数ラスタ値のグラフ表示

ジオツールボックスの〈プロフィール表示 (Profile View)〉画面では複数のラスタオブジェクトにおける対応する地点のセル値のプロットを作ることができます。Y軸にラスタのセル値、X軸に選択した一連のラスタオブジェクトの番号をプロットした図は多くの応用分野があります。例えば、同じ場所の時系列の植生指標ラスタに対して、複数の地点の時間的変遷をプロットしたい場合があります。また、SPOT やランドサット、QuickBird のような広い波長域のマルチスペクトル画像で、選択した場所の "スペクトル" プロットを簡単に作りたい場合があるかもしれません。

そのようなグラフを作るには〈プロフィール表示〉ウィンドウと共に〈ジオツールボックス〉ウィンドウの [ポイント] 測定ツールを使います。[ポイント] ツールを選び、表示ウィンドウ上で左クリックすると、そのセルの位置にプロットマークが表示されます。グラフ化するラスタオブジェクトを画面に表示する必要はありません。〈プロフィール表示〉ウィンドウでラスタを選択し、表示画面ではリファレンスのオブジェクト (RGB 画像バンドの組み合わせやラスタ、ベクタ地図) を表示して下さい。〈プロフィール表示〉ウィンドウ中のラスタオブジェクトのポイント位置は各オブジェクトのジオリファレンス情報から個別に計算されます。オブジェクトの投影法やセルサイズ、地理的範囲を合わせる必要はありません。整数や浮動小数点のデータ形式のラスタを混ぜて使うこともできます。スプレッドシートや他のアプリケーションに取り込みやすいように、カンマ区切りテキストファイルとして表示中の全プロフィールデータを保存できます。



ニューメキシコ南東部3地点の2000年1月から12月までの正規化植生指標 (NDVI, 値の範囲は -100 から +100) の変動のプロット。36個の AVHRR 10 日コンポジット画像を使用。

The composite image illustrates the process of creating a spectral plot. On the left, the 'Profile View' window shows a 'Profile View' graph with 'Value' (0 to 250) on the y-axis and 'Raster Number' (1 to 6) on the x-axis. A text box explains that the 'Open' icon in the 'Profile View' window is used to select the raster for plotting. In the center, a map window shows a '参照用の地図画像' (Reference map image) and a '参照用の RGBI バンド画像' (Reference RGBI band image). The 'GeoToolbox' window on the right shows the 'Multi-Point' tool selected, with a text box explaining that this tool is used to specify the cell location for plotting. Another text box explains that the default mode of the 'Multi-Point' tool allows for adding multiple points to a single profile plot.

ランドサット7号 ETM の6バンドの簡易的 "スペクトル" プロット。波長が大きくなる順 (バンド1、2、3、4、5、7) に並んでいます。このようなプロット図はバンド画像に波長情報を与えなくても作成できます。上のプロットの各ラスタ値にはマーカー (ノード) が付いています。右図のようなベタめりのプロット、マーカー、階段状プロットなど、様々な組み合わせを選択できます。

